



主要大会結果報告

日本学生個人選手権



藤岡哲也(教職大学院修士課程 2 年)

400mH 予選
51"84 SB!!

400mH 準決勝
52"95

釣本陽香(教育学部 1 年)

走幅跳
6m05(+2.8) 4 位入賞!!

三段跳
12m67(+2.0) 3 位入賞!! PB!!
国大歴代記録 5 位更新!!

6 月 14 日から 16 日まで平塚レモンガススタジアムにて行われた全国大会である学生個人選手権に弊部から 2 名の出場者が出ました。この大会は全日本インカレよりも標準記録が高く、非常にレベルの高い試合ではありますが、出場した二名とも素晴らしい活躍を刻んでくれました。

今シーズン怪我による不調に苦しんだ藤岡も大舞台に向けて持ち味である驚異的な調整力を発揮し、見事 51 秒台での SB により準決勝進出を果たしました。

1 年生でありながら関東インカレ 4 位入賞という強烈なデビューを果たした釣本は、ここで出場種目ダブル入賞かつ三段跳は国大歴代記録 5 位の記録とかつての自己記録を上回る跳躍を魅せ、ルーキーでありながらエースとしての活躍をしてくれました。



記録会結果報告

5/25~6/23

100m

金指翔(3) 11"38(+1.0) SB 市記録

11"15(+3.0) 日体

11"27(+2.4) 日体

上村誠(1) 11"68(+1.2) 初戦 日大

熊谷隼(2) 11"85 初戦 東海

小島悠矢(M1) 11"19(+0.5) SB 日大

11"30(0.0) 市記録

佐藤駿介(M2) 10"85(+0.9) PB 市記録

西山圭吾(3) 11"66(+1.3) 日体

11"79(+1.9) 日体

南里菜(4) 12"48(+0.6) 日大

山口滉太(4) 11"24(+1.2) SB 市記録

200m

上井雄世(2) 22"28(+0.3) 日体

21"54(+4.8) 日体

22"26(-0.8) 日体

金指翔(3) 22"96(+0.3) SB 日体

小島悠矢(M1) 22"74(0.0) 日大

22"52(+0.3) 日体

鈴木皐陽(3) 23"05(+4.8) 日体

400m

金指翔(3) 54"14 SB 日体

佐藤駿介(M2) 48"43 日体

鈴木皐陽(3) 50"08 SB 日体

50"56 神奈川県選

服部拓斗(M1) 50"97 SB 市記録

廣田凌(2) 49"55 PB 日体

藤岡哲也(M2) 49"83 SB 日体

800m

石井遥大(2) 1'54"89 日体

鈴木皐陽(3) 1'56"15 日体

1'59"09 神奈川県選

室田美玲(3) 2'31"13 SB 世田谷

1500m

石井遥大(2) 3'58"89 SB 日体

遠藤礼偉(3) 3'58"65 PB 世田谷

4'04"95 日体

木村優斗(1) 4'18"42 初戦 現状打破

曳地謙人(4) 4'04"79 SB 現状打破

廣田凌(2) 4'09"13 PB 日体

吉澤洋樹(3) 4'02"15 PB 世田谷

4'05"82 日体

中澤依吹(2) 26"63(-0.4) SB 市記録

南里菜(4) 25"90(+1.4) SB 日大

藤岡哲也(M2) 22"29(-0.7) SB 市記録

5000m

稲川温健(2) 15'35"22 PB 日体

遠藤礼偉(3) 15'27"46 SB 日体

砂川遼太(3) 15'49"79 PB 日体

100mH

釣本陽香(1) 14"51(+1.4) 日体

14"24(+3.7) 日体

110mH

渡邊薫(M2) 14"88(+0.7) PB 市記録

赤川諒(2) 15"00(+0.7) SB 市記録

3000mSC

長澤晃太(1) 10'54"37 初戦 神奈川県選

曳地謙人(4) 9'46"87 SB 神奈川県選

砲丸投

下山翔平(M2) 12m36 市記録

円盤投

下山翔平(M2) 34m24 神奈川県選

平井梨恵(2) 22m09 PB 市記録

ハンマー投

下山翔平(M2) 42m19 神奈川県選

平井梨恵(2) 35m46 PB 国大歴代記録更新 日体

走幅跳

桶谷佳弘(1) 6m48 SB 日大

部員から

今回は主将の遠藤が6月の練習の様子や部の取り組み等をご報告させていただきます。

まずは在籍部員数ですが、男33名、女10名の計43名で活動しております。今年度の新入部員は10名(1年生8名、2年生1名、修士1年生1名)でした。

6月は全ブロックにてPBが出ており、SBもかなりの数が出ました。順調に練習が積めている様子が確認でき、今後のトラックシーズン後半戦で好記録が期待できそうな選手もいます。一方で、怪我人も少々出てきてしまっていますが、それぞれがやるべきことを見出して練習に励んでおります。

また、6月8日には4,5月の振り返りと6,7月の目標というテーマでグループミーティングを行い、そこでは、6,7月の目標にとどまらず、シーズンや年間の目標といった長期的な視野を持って練習に取り組む展望を語った部員も多く、意識を高く持って競技と向き合っていることが伺えました。

新たな取り組みとして、金曜の集合後に全部員に対して、各ブロックの代表者が日々行っているドリルの紹介と考えていることを説明するドリル紹介という取り組みを始めましたが、ブロックの垣根を超えてお互いの理解が深まり、結束力が増したように思えます。今後は、関甲信、全日本インカレ、27大に向けてさらに一体感を持って臨んでいけるよう様々な取り組みを幹部で行う予定です。

また、中長距離ブロックは7年ぶりの箱根予選会出場に向けて全力で挑戦していくので、ご期待ください。

短距離、フィールドブロックも9月に行われる全日本インカレに向けて、少しでも多くの部員が出場できるよう気合の入った雰囲気練習に取り組んでいます。

そして、シーズンの集大成となる27大学対校陸上競技大会に向けて選手、マネージャーを始めとした弊部を支えてくださる方全てが体現する強い横国を合わせ、大きな大きな力を生んでくれると私は信じています。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。今後ともよろしく願います。